

現状

茨城県の医師の数は、全国ワースト2で、全国平均を大きく下回っているという報道を皆さんも耳にしたことがあると思います。全国的に医師不足が叫ばれ、国は医学部定員を増やすなど国をあげて医師の増加に取り組んでいます。

では、私たちが暮らし、ともに連携しながら共存する区域である茨城県央地域の病院数や医師数を見てみましょう。

平成 26 年 人口 10 万対病院数及び診療科別医療施設従事医師数

区 分	一般病院 数(所)	一般診療 所数(所)	医師数 (人)	小児科 (人)	産婦人科 (人)	内科 (人)	外科 (人)
全 国	5.9	78.5	233.6	13.2	8.3	48.2	12.1
茨城県	5.5	58.2	169.6	9.7	6.9	32.9	7.7
水戸市	9.3	90.1	237.7	18.8	15.5	40.2	10.7
笠間市	5.1	49.8	271.5	3.9	3.9	29.7	5.2
小美玉市	7.7	34.6	70.2	1.9	0.0	23.4	0.0
茨城町	5.9	41.6	317.8	3.0	0.0	18.2	33.3
大洗町	5.7	56.9	99.4	0.0	0.0	52.6	5.8
城里町	14.3	43.0	44.3	0.0	0.0	24.6	0.0
那珂市	5.6	59.3	100.5	1.9	0.0	42.8	3.7
ひたちなか市	4.5	52.2	125.7	5.7	6.4	28.7	4.5
東海村	5.3	50.2	110.7	18.4	0.0	29.0	7.9

※病院数は平成 24 年 10 月 1 日現在、医師数は平成 26 年 12 月 31 日現在の数字。

県央地域においては、大きな公的病院などがある水戸市や笠間市、茨城町については医師数が全国平均かそれをやや上回るものとなっていますが、当地域全体としては全国よりも少ない状況にあります。また、全国的に医師の診療科偏在が問題となっていますが、当地域においても小児科や産婦人科の医師数は全国的にみて低位であり、医師の地域偏在、診療科偏在など、地域住民の健康を守り、地域で安心して毎日の生活を送ることができる医療環境が整っているとは言えない状況です。

ご覧のように、当地域においても医師不足は深刻な問題であり、適切な医療体制を維持しようと奮闘する医師等の負担が急激に増加する事態となっています。